

NEWS RELEASE

2024年3月27日(水)から

新デザインの EV バス車両を運行開始します

- ◆ 阪急バスの企業理念「ひととまちに優しい阪急バス」を体現する新デザイン
- ◆ <u>今後の EV バス標準デザイン</u>として、猪名川営業所に導入する4台から適用
- ◆ ユニバーサルデザインの採用や、安全性、環境性の向上を目的とした配色

阪急バス株式会社(本社:大阪府豊中市、社長:井波 洋)では、2024年3月27日(水)から猪名川営業所にて運行する EV バスより、EV バス車両の新しい標準デザインを採用いたします。

企業理念である<u>「ひととまちに優しい阪急バス」を体現</u>するデザインとして、戦後から変わらないベースカラーを踏襲することで、<u>お客さまに親しみや安心感</u>をお与えしつつ、屋根部分には新たに白色を採用し、車内温度の上昇を抑制して<u>環境性の向上に寄与</u>することなどを特長にしております。

阪急バスでは、今後も社員一同がお客さまにまごころのこもったサービスをご提供することにより、「ありがとう」と「笑顔」があふれるまちづくりに、より一層貢献できるよう努めてまいります。

詳細は以下のとおりです。



1. デザインコンセプト

企業理念の体現

「ひととまちに優しい阪急バス」という企業理念を、「優しさ」「協調性」を想起させる"クリーム色"で体現しています。

① 「親しみ」・「安心感」

少子高齢化が進む社会においても、地域の皆さまの交通手段として我々が担う使命やバス輸送サービスの重要性は変わりません。新デザインにおいても、戦後から変わらないカラーを踏襲し、ご利用のお客さまに親しみと安心感をお与えするとともに、地域の公共交通としての存在感を発揮します。

②「目新しさ」

阪急バスの車両デザインの特徴でもあったトリコロールカラー(赤・白・青)のラインを活かした EV ロゴのほか、「多様性」「視認性」「環境性」の向上を図るカラーバランスのアップデートにより目新しさを体現します。

多様性 阪急バスカラーの"水色"をベースに明度・彩度差を強調し、様々な方に認識いただきやすいユニバーサルデザインを採用しました。

視認性 ラインデザイン、ロゴデザインにより乗車扉が一目でわかるようにしました。

「環境性」 屋根を"白色"とすることで、夏季の直射日光を反射させて車内温度の上昇を抑え、 エネルギー消費抑制に寄与します。



2. 新デザイン EV バス車両の導入概要

導入時期・・・2024年3月27日(水)以降EVバス新車製造に伴い導入予定 ※大阪・関西万博シャトルバス使用車両を除く

• 車両購入先・・・・株式会社 EV モーターズ・ジャパン